

会 議 録			
日 時	令和 7 年 2 月 28 日（金） 10：00～10：35	場 所	由利本荘市消防本部 消防庁舎 「大会議室」
会 議 名	令和 6 年度 第 5 回 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会		
出 席 者	委 員：（委員 35 名中）20 名出席 ※代理出席含む 随行者：羽後交通(株)(1) 事務局：地域づくり推進課(3)、各総合支所市民サービス課担当者(3) ※詳細は別紙のとおり		
案 件 及 び 会 議 要 旨			
1 開 会			
2 あいさつ			
会長 由利本荘市 市長 湊 貴信			
・ 運転士不足の深刻化よりバス路線の廃止や大幅減便など、大変厳しい状況を迎えているが、新たな計画の中で検討されている A I オンデマンド交通の導入に向けた実証運行の実施など、市民にとって利便性の高い公共交通サービスの提供を目指していく。			
本日の案件は、先に行われた分科会で評価・検証された計画事業の実施状況と評価検証内容の報告となるので、活発なご意見をいただきたい。			
3 議 事			
議案第 1 号 由利本荘市地域公共交通計画の実施事業の検証について			
<星野分科会副委員長より、分科会の協議内容等について答申あり>			
○分科会での主な協議内容			
・ A I オンデマンド交通の概要やその導入方法、既存交通機関との調整について。			
・ バスロケーションシステムの導入の概要についての質問や、導入方法に関する提案。			
・ 路線・便数の減少による評価指標の修正・変更の必要性について。			
<事務局より説明>			
○追加資料「A I オンデマンド交通の概要」について			
・ 路線バスは時間・ルートが決まっており、大容量輸送に向いており、安価で利用できる。			
・ タクシーは個別の要望に対応していて、自宅前から目的地の目前まで向かうことができる。			
・ オンデマンドバスは両方の良い点を持ち合わせ、効率的なルートで多くの人を比較的安価に輸送することが可能。料金体系等については、資料参照。			
○評価指標の設定根拠について			
・ 設定根拠についてのページを追加。			
・ 各施策の実施により、どれだけ利用者・収益が増えたのか？が今計画の指標として採用。			
・ 令和 1 0 年度で公共交通の利用者は 66,542 名減少見込み。			
・ 令和 1 0 年度の本市の人口推計見込みの 65,582 名、利用者の減少者数の方が上回る。			
・ 65,582 名の市民が年 2 回公共交通を利用すれば、減少見込み分を優に上回る。			

- ・ぜひ年2回の公共交通での「おでかけ」を心掛けていただきたい。

<質疑・応答なし>

議案第2号 地域公共交通確保維持事業に係る計画変更について

<事務局より説明>

○地域公共交通確保維持事業に係る計画変更について

- ・大内地域の「道の駅おおうち」バス停追加により運行計画に変更が生じた。
- ・変更計画には本協議会の承認が必要。
- ・承認後、資料一式と併せ、運輸局へ変更届を提出する。

<質疑・応答なし>

4 その他

羽後交通(株)事業本部 営業担当次長 金谷文之（代理出席）

○運賃の改定について

- ・1/15に国交省へ運賃変更認可申請を行わせていただいた。
- ・平成9年に運賃改定を実施して以来、約28年ぶりの改定となる。
- ・この間人口減少、少子高齢化などにより、利用者の減少は凄いスピードで進んできた。
- ・また、乗務員不足の深刻な状況が続いており、乗務員の確保のためのコスト、処遇改善や安全管理等の経費も増えてきている。
- ・その上燃料費等の物価高騰など経費が増してきており、非常に厳しい経営が続いている。
- ・このような状況ではあるが、この先も引き続き公共交通の事業者としてできる限りサービス提供を続けたいと考え、ここで運賃改定を行い、いくらかでも収支改善することが必要だと判断し、運賃変更申請を行ったものである。
- ・初乗り運賃160円→200円に改定。その他の区間運賃も30～40円、大きいところで50円程度の改定となった。
- ・利用いただいているお客様に負担を掛けることとなってしまって心苦しいが、何卒ご理解いただきたい。

羽本荘地域公共交通利用者 大竹 悦子

○コミュニティバスの停車位置について

- ・コミュニティバス「子吉線」を買い物で良く利用しているが、商業施設の敷地内に入って停車することはできないか？道路上では、横断歩道を渡らなければならない、以前横断歩道の横断時の事故も起きており、不安を感じる。

→商業施設の事業者とも協議して、改善を検討したい。

5 閉 会